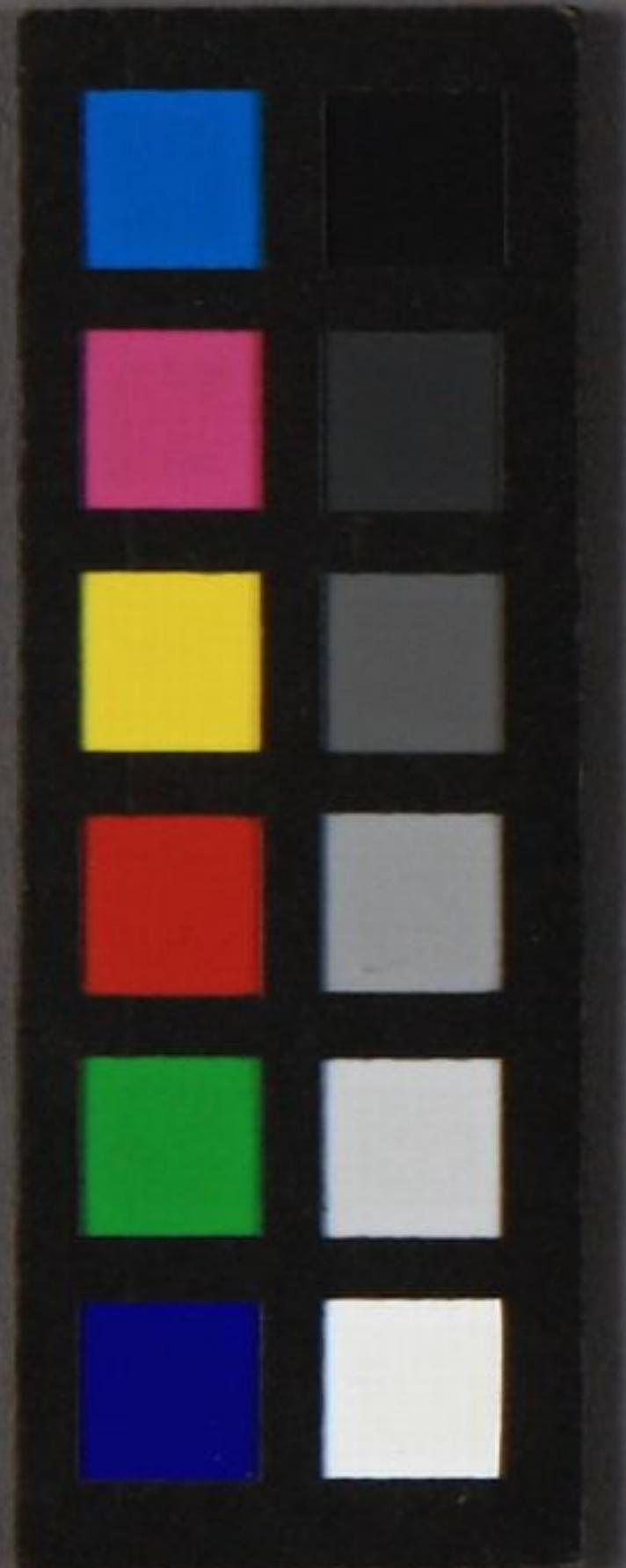


20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40

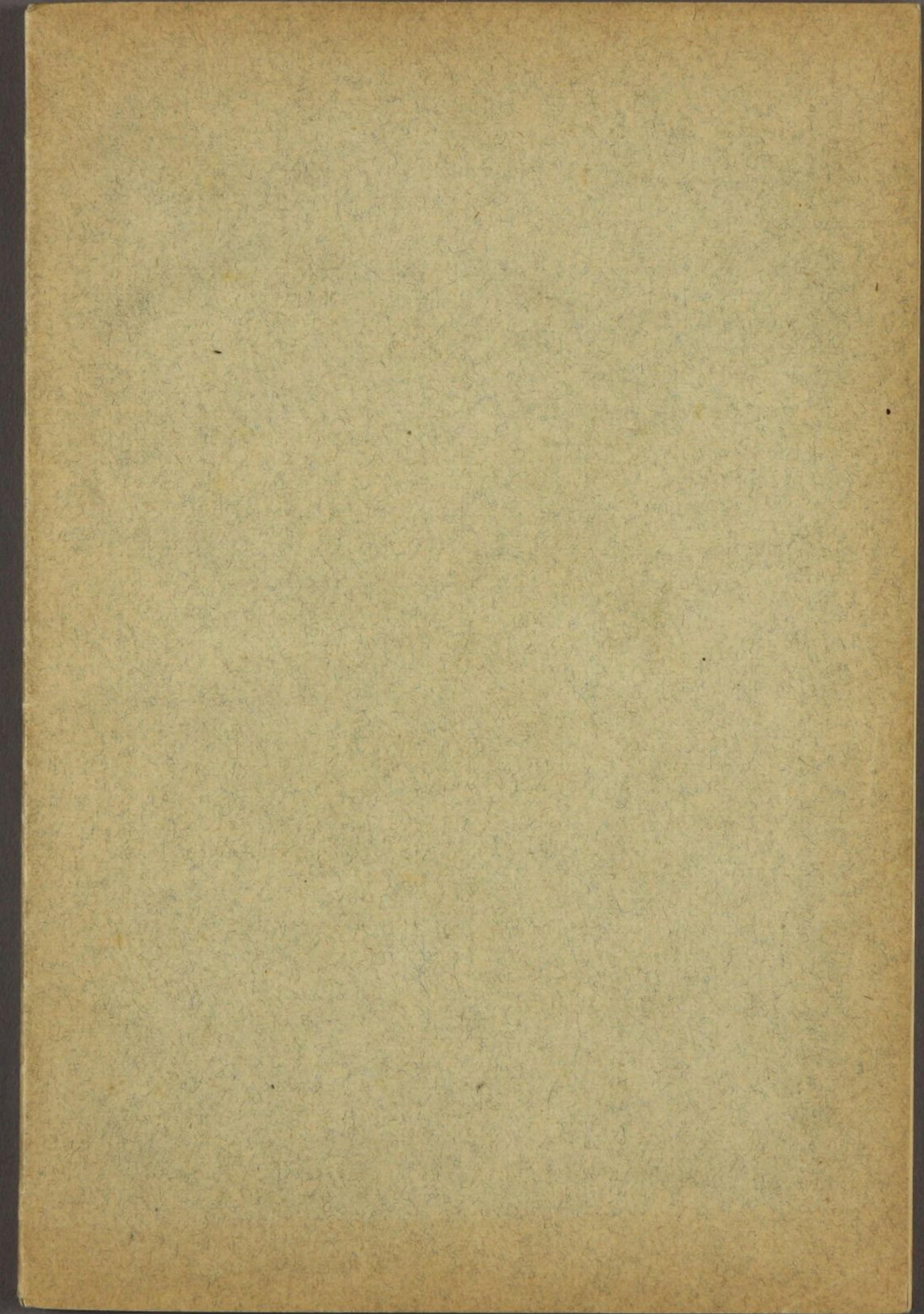
大和田建樹
奥好義同選

明治唱歌 第四集

東京 中央堂發兌







大和田建樹
奥好義同選

明治唱歌

第四集

東京 中央堂發兌

音

春歌あつたるもくへまやかめがく、魚あつ
て柱あつてはうだむちかく、すこてかは
て其用を今うせんむやあるべれ、はまぐれを
今うせんむやんちかく、かくのあひやれる方
がく、うながく、うづ明治唱歌乃春をうよ
て、ふく、かくうつまつは集を出版し、
まつまつうつむかし、歌をうよ、魚あつて

聲をぬくよ、往ひとまくともぐきせ
とのごむともくにや、作曲者の旅行中する
経歴もとくきて来て、歌をゆきうるもあ。
いとうといば、明治唱歌の作者うちれどゆる
くるべくともうりしとおく、また作歌者ハ洋
琴の新舊ありかよう列はせることもあま
きく、もとうすたる事既ニテカ月ほど
前アリテ例あれば、うたはす
ちうじや、兩つわざ兼ねほんべうれ
うべあく、うらうづかうれしきをひ
こやあくもく東寺山門下雨やう
せううはもく、日野資朝卿アラシ
いたくおもと、よへんをくふくとまづ
くはいへ、

明治二十二年十一月

大和田建樹

凡例

一 前集の如く、作歌者をさうらぬと建樹のうた、
作曲者をさうらぬる西洋の曲を取くるちう、
一 海辺の歌の曲を小原君より寄せらるりを、撰者
一同協議のとおり事に決へたり、同氏よ多謝す、
一 上真行君は則承志の勞を取らハシム、前
集にゆづべ、

明治唱歌第四集
目録

学びの山路	八 頁
朝ぼうげ	十 頁
未來の旅	十二 頁
月ひづく	十四 頁
うらわをまめ	十六 頁
奈良の里	十八 頁
山彦	二十 頁
一葉の舟	二十二 頁
満邊の歌	二十四 頁

そだて／＼薦

二十六頁

秋もいま

二十八頁

八千重の綿

三十頁

新嘗

三十二頁

秋のあくこ

三十四頁

山里

三十六頁

我と人

三十八頁

おけのさ

四十頁

あくこ

四十二頁

うは／＼ぬ春

四十四頁

ゆみ／＼そ

四十六頁

墳墓の土地

五十二頁

涙の聲

五十四頁

小春のうた

五十六頁

招け来る春を

五十八頁

和哥の浦

六十頁

旅の後

六十一頁

古きやうど

六十九頁

六

嶺き山路よひすく
やふるちと父よ母よ
おぐらが下らるるおのの方
ふもと城としるへ家の父
いづきう慈愛のえなぬ
こづゆく学びのまちもく
いそげや学びの山路を

あてちむ波浪よ風たゞ
うれや旅人ひるいづ
ゆくて教ふるや間の星新
一筋もせざるよびの僕
いづくめぐみすくかくじぬ
こづゆく学びのまちもく
いそげや学びの山路を

学びの山路

学びの山路

(1)けもしきやまちにけふーもく一れぬ
(2)ハテーナキナミヂニアラーシターカシカ
ひーしやふるさとちちよもーもよ
ナーシヤタビビトイヘーハイーズコユ
ぐさめがほなるこのまのつきかけふ
クテヲシブルクモマノホシカゲ
ちとをしらするじんかのとしひ
トスヂミセタルミドリノマユズミイ
づーれらじあいのひかーりるーらぬわがーゆくまちびのみ
ヅークカタグミノスミーカナーラヌワガ—ユクマナビノミ
rit.
ちーもしーりぞいそげやまちびのやまちを
チーモシーカゾイソゲヤマナビノナミヂ

上 真 行 作曲

神ハ慈愛を^ミる^ミの^ミ園^{アリ}
 ユルハ慈愛を^ミる^ミの^ミ園^{アリ}
 もぼまぬきむよもよ^ミたよ
 池^{アリ}と^ミる^ミに^ミれ^ミる
 づ^{アリ}え半^{アリ}の^ミいと^ミく^ミ
 くちびるあ^ミそ^ミいざ^ミか^ミれ
 あはれい^ミま^ミむ^ミも^ミう^ミど
 あ^ミる^ミう^ミき^ミさ^ミで^ミう^ミく^ミ
 千里の^ミきの^ミの^ミ園^{アリ}

朝ぼうけ

神の慈愛を^ミる^ミの^ミゆく
 天つ使の^ミる^ミう^ミせ^ミぞ
 ユルや^ミま^ミぞ^ミく^ミ園^{アリ}
 ち^ミぬ^ミま^ミく^ミら^ミう^ミぐ^ミ
 お^ミる^ミう^ミた^ミ朝^{アリ}び^ミけ
 ひ^ミく^ミや^ミう^ミあ^ミふ^ミや^ミ
 ひ^ミく^ミ枝^{アリ}も^ミく^ミて^ミ山^{アリ}ア^ミ
 支^ミれ^ミひ^ミく^ミと^ミく^ミさせ^ミ
 あ^ミう^ミう^ミ月^{アリ}比^ミう^ミげ^ミう^ミ

朝ぼうけ

未来の旅

4

(1) ひたひ ゆたかに たちなみ て
 (2) ツユモテ アーマス ノベノハナ ナ
 (3) あゆつる かーはの ゆふひか げ

おくとり むかふる ちつのやま ましろ
 ワケユリクリ ムカフロ ちマルキバコ ましろ
 いろどり カーくる わがこそ ましろ

かはす なさけのの あらたさを
 カナタモ コーヒシ あコフモヲシ
 あしまみ みゆる やまもと の

こゑに しらする たにのみ づ
 クスミスリ ワツラフ アサノミラ チカ
 も やしろり ふる てら

こころを いつか はやそこへ
 チギリシ キミノ カゲソヘ
 た一びの うれひそ よそにせ テン

きみと たびせん このなつ
 ハヤワガ ユーメハ モロトモ
 ろらいの た一びを たぐめぐ 二み

未来の旅

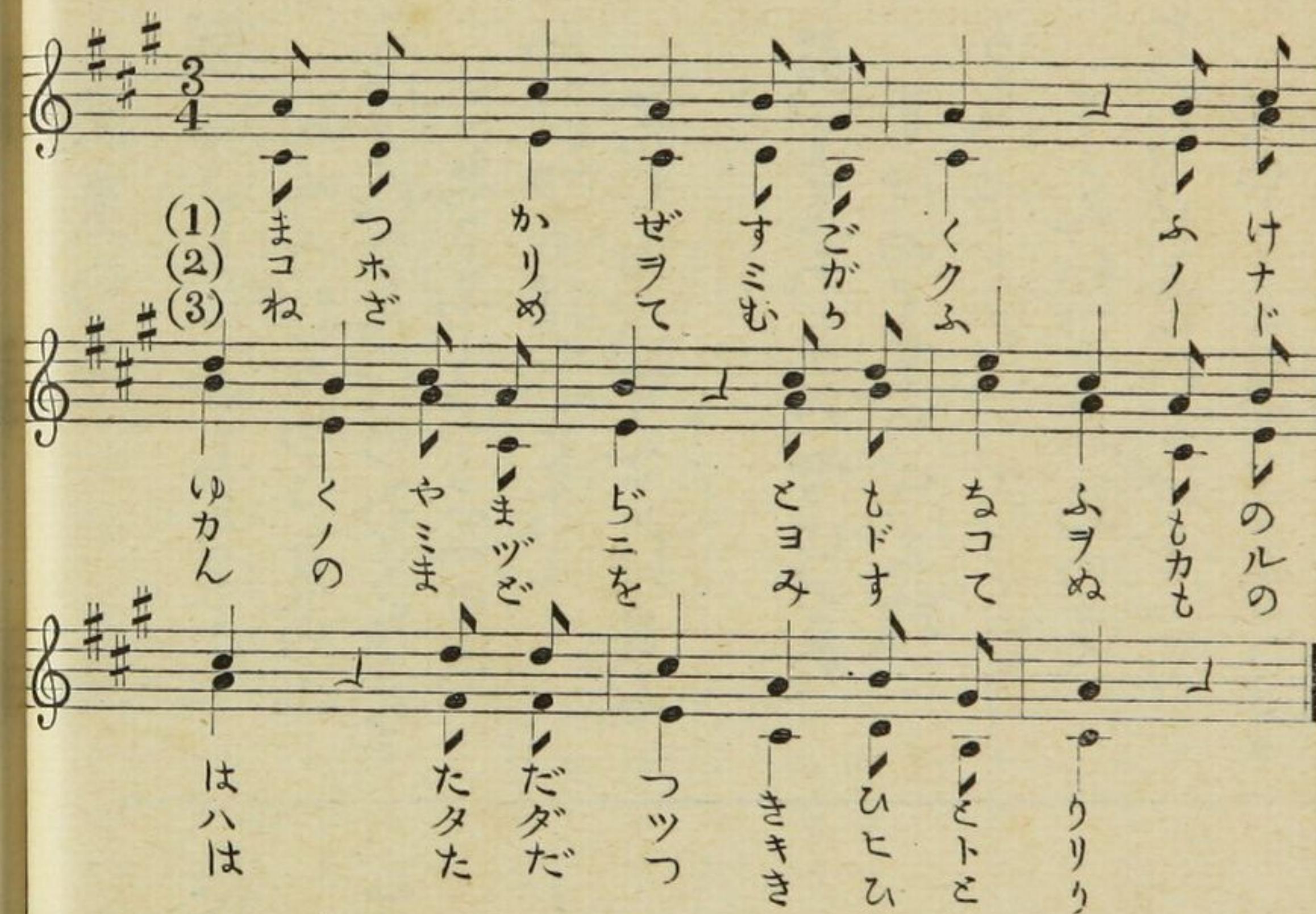
額ゆくにあらうて
 ちくむすす夏の山
 うばくちだけのあらたきを
 こゑよさしき谷の水
 かいつのはやそよ
 君ともじせんじて夏る
 はやく夢ハカラヒよ

君もとあまん壁邊の岩
 フサゆく末の丸木橋
 うきよとくいがくよ
 すみわづらふねの道
 ちがくじきのうげきて

船づ川の夕日うげ
 きどくかくわざん
 芦間よしゆるふくの
 森もやうらうするてく
 めじのれひひととせん
 未来のたびもとがめぐ

奥好義作曲

月ひとり



月ひとり

松風まぐさけゆく山路

さとちよもむらあかひ

氷をみぐく壁中冰水

夜床をかどる月

寐はれてむすみ詩人のまどを

みほてぬもむらあかひ

うちゐをやめ

(1) わ かくさみ じかきの べのみち
(2) ユ クテラサ ヘギルイ バラアザ

A musical score for 'Kidadachiwa' on a staff with five lines. The notes are primarily eighth and sixteenth notes, with some quarter notes. The lyrics are written below the staff.

A handwritten musical score for 'Kumoi'. The score consists of two staves. The top staff has a dynamic marking 'f' at the beginning. The bottom staff contains Japanese lyrics written below the notes.

めかすみをしるべにいそげいそ
ジタタミハタノシキハルノカゼ

A musical score for 'Hatsukoi' featuring a single melodic line on a five-line staff. The notes are primarily eighth and sixteenth notes, with some quarter notes and rests. The music is divided into measures by vertical bar lines. Below the staff, Japanese lyrics are written in hiragana: 'けみえたりのぞみのそのはつは' on the first two lines, and 'ニフカレティデタツヨノハツタ' on the third line.

A musical score for 'Amabito' featuring a single melodic line on a five-line staff. The notes are primarily eighth and sixteenth notes, with some quarter notes. The lyrics are written below the staff, corresponding to the notes. There are two thick black bars placed under the staff, one near the beginning and another near the end.

わの草木ドかき疊道の道を
ちかくまづやかなわゆみ
まじめとまごへいそげ
見えぬまづみのほつれ
ゆゑとはざるばあがみ
あそぶよひこひこひこ
たゞ身もみき春の風ア
ふれいでたけすすめ旅
すすめ旅

奈良の里

(1) もー らのさー どのはー るのか ゼー いー
(2) ナー ラノサートノハールノツキイー

くよかー けーてわー たる ら んゆ
クヨカー ケーテカースムラ ンハ

ふべさー むきみー さざきー の くー
ナノホー カニフー ルテラー ノ カー

A musical score for 'Harei' featuring a single melodic line on a staff with a key signature of one sharp. The melody consists of eighth and sixteenth notes, with several grace notes indicated by short vertical strokes. The lyrics are written below the staff.

A musical score for a single melodic line, likely for a woodwind instrument like flute or oboe. The score consists of two staves. The top staff shows a continuous series of eighth-note strokes on a single line, with vertical bar lines dividing the measures. The bottom staff contains lyrics in Japanese: 'メトスギ しみやーのーあー ラベノユースヲ カーノーマー ツ'. The lyrics are aligned with the notes above them.

奈良の里

奈良の春の風
いわく、
わざわざ、
草葉をねどり、
わはれ、
夢としまる。

奈良乃きよひ春の月
いはせうけてうらにも
おもほくにまよひよ
りあひをとどけます
あむれるのと竹の
いぢります岡のま

山 章

Musical score for "Mabiko" featuring two staves of music with lyrics in Japanese and English. The first staff begins with a dynamic of *mf*, a key signature of one sharp, and a time signature of $\frac{6}{8}$. The lyrics are:

 (1) の やまにこ たふるは るのしーら べーや
 (2) ヲ ガハニコ タフルア イノヒービ キーヤ
 The second staff continues with dynamics *pp*, *f*, and *pp*. The lyrics are:

 まびこや まびこそ のやまび こや まびこー^{マビコヤ}
 マビコソ ノヤマビ コヤ マビコー

 The third staff begins with *mf*, a key signature of one sharp, and a time signature of $\frac{6}{8}$. The lyrics are:

 (3) た ちそこう ちてやや まむうーた ふー、や
 (4) ア シブミト ドロニカ ハモヲード ルーザ
 The fourth staff continues with dynamics *pp*, *f*, and *pp*. The lyrics are:

 まびこや まびこそ のやまび こや まびこー^{マビコヤ}
 マビコソ ノヤマビ コヤ マビコー

山
產

一葉の舟

(1) はるかぜ しづうに うみをぞ わーたーる
 (2) フナバタ カスノテ ラドレル ターヒーラ
 (3) ゆくへそ さだめじ ひとはの ふーねーに
 フリふね うかべん うれーしーやー けふド
 テアミニ スクヒテ イザーイーザー やード
 わがよを あづけて たのーしー やー あす
 かすみの あみほす しまやま かーげーの
 イクサノ ニハニテ ウチトル クービーモ
 なれでは かもめも ともとぞ たーのーむ
 はなを ちハミ がてら うれーしー やー けふド
 コレふづき オヨバジ いたーしー やー あす

一葉の舟

春風あづの海をうわる
 純白舟うかぶんうるやく
 美あみふく島山うげの
 花をも見ぐてうるやけと
 あむばくらひめとおどれる網を
 手網アヌシヒテイギ
 いのちのゆゑにそうちとる首も
 うれにあやうほどいざくやぐ
 ゆくふをうごめく一葉の舟ア
 ミヅキをあだうてなりやあひと
 なれてはかもめも友をうごたみむ
 夕月のうけーたりやあひと

海辺の歌

2
 4
 $f\ddot{o}$
 (1) を ざれち み しぜ ん の づ
 (2) ウ テヨナ み し ウ ー ん づ
 (3) か へれち ひ ー チ ー ク
 づ み
 ケ て
 き

 p
 うち つ れ て つ か れ ぬ ひ や し
 マ キ カ へ ル ミ キ カ ラ ハ ワ レ ヲ
 そ ら の う み あ ら ひ は て て は

 ふ ま み や た つ ト い れ ほ そ そ こ
 ふ ま み や た つ ト い れ ほ そ そ こ
 え ル づ

 よ ゾ ち わ が う へ 一 を く も ジ
 ち る あ ら 一 ツ れ マ ち み か

 し づ む も た だ ち れ 一 に
 イ ハ ネ ニ ミ ヲ セ 一 テ
 わ が み り か み ヨ の て 一 か

海道の歌
いとうせ

小原甲三郎作曲

自然の聲をうるさく
いざとじゆうはんの上を
うきよてかげむかづか
うきてよせ
うきよてかげむかづか
あわせた紙をうめく
あわせた紙をうめく
あわせた紙をうめく
あわせた紙をうめく
人氣をれんじゆく
あわせた紙をうめく
あわせた紙をうめく
あわせた紙をうめく

そだて | 菊

The image shows a musical score for a vocal performance. It consists of three staves of music with lyrics written in Japanese. The first staff starts with a treble clef, a key signature of one sharp (F#), and a time signature of 2/4. The second staff starts with a bass clef and a key signature of one sharp (F#). The third staff starts with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The lyrics are arranged in three groups corresponding to the staves. The first group (treble, bass, treble) includes lines like "(1)あく一れば えだに みづう一ち一 か一けけん" and "(2)シロー キハ ツヒ アカ一 キハ". The second group (bass, treble, bass) includes "そだ一 てし一 き一 く一 は いまぞ一つ一 ば み". The third group (treble, bass, treble) includes "タノ一 シキ一 ソ一 ノ一 ノ ツユノ一イ一 ロ ヲ". The music features various note values including eighth and sixteenth notes, and rests. There are also several slurs and grace notes throughout the piece.

卷之二

おもひだれ水くらひ
くわくわ根うも水くらひ
くわくわ葉うも根うも水くらひ
あいづれを園生に

白れ月夜の間
赤き身の口
身を圍むるのいろと
たゞまつて一

秋もいま

(1) いりひさす かたやまざと
（2）カリノコス イナバノナミ
（3）たにがはに うしのういれて

あきはいい ま ま ま いねこくしづか
アキハイ ま ま ま いねこくしづか
あきはい ま ま ま いねこくしづか

うたのしらべーーーに
コエノシユーーーに
かごのくさーーーに

卷之三

過則承作曲

入日さへうる山里下秋もいま
いねく賊が歌のジア
うみの稻葉の波下枯れいま
さわぐ小矢野のゆくつ
谷川牛の入れて枯れいま
うるわきの森と草原ア
すれちる水下ゆくれて枯れいま
ゆカ下くのう梢ア
あむ室うるをよめきごと枯れいま
ねア母の山もきみよめア

秋之
いま

八千重の錦
大和田あいふ作歌

夕日もさへ向ひの山
そめ紅葉もさへ秋
あがゆちたる八千重の錦
とく奥みづん風すき

よるひもさへけん時雨よ落よ
らむ守りて嵐アあつれ
涙をとどけてさへとくめゆう
れて月ある山絶すき

八千重の錦

Allegretto.

(1) ゆふひはかくれしむりひのやま
(2) ヨルヒルソメケンシグレヨツユ
にそめますもみぢのいろこそこのこ
ヨチラスナマモリテアラシニアツ
れたぐてにたーりたるやちへのにーし
ナタキヲモミーガテラナホトメユーカ
きるほたくたづねんかぜよりさーきに
ンクレテモツキアルヤマギノアーキヲ

新嘗

きみがよのあきはをだにうみつるい

たうなるとしはさとをぞふ一日ふに

ひまめーしーいはへうたひまーひーあそべめ

ぐみのほらーみをさまろくにの

ちあきのながあきを

新嘗

きみが代の秋も小内にうみつる

ゆうかの年ハ里をうじいり

新嘗一はうたひまうあそび

やくはれ穂波をうちまう國乃

ふ秋も秋を

神の工

神の工

神の工

花ようわの糸に

うつるそぞれ

うやうひ野山を

染めてそぞれ

きのあそびぐら

くふく雪あら

ゆふ月もうづ

夕むれそぞれ

きのあそびぐら

山里

4

(1) みざりしたたるのきのやま
(2) メザムルチーゴノマクラニハ
(3) すすきのなみのほがくれ

へんくに つねきス まごのくルセマシ
ヤナギノ マ一するカザグルをみなめ
うきレブミーするマサギル

そらに をさらせて うたひゑかれぬ
トモヨブヤマバトモのナレテハコトバ
まねくけふかぜのそでさまざまの

たにのみブンギ うぐくのうでわがこ
カハスラアブンラ うサナゴクロニモエソ
のべのあき か一きねづたひにうか
うらで とザアラウヘクミ はやいク
ろルて とザアラウヘクミ はやいク
アヘ かへも

山里

(下取次)

芝葛鎮作曲

山里（下取次）
月の山（下取次）

變化の山（下取次）
朝日を山（下取次）

水の山（下取次）
造化の腕（下取次）

月の山（下取次）
柳のまほすうらぐま

やねうゑよぶやまば

うれてハチキカヒラ

を山（下取次）もえもる。

造化の愛山（下取次）はや歲

すずの波のうかれ
うれしげに山の女郎花
うらじまの夕風の
うきよぐのけで秋
あこううれしにうかれきて

わきも人
太刀をひ矢つむぬ事うら
せ度うすれてみうるのためア
いづくらにぬくらの名
あれも又人うわきも又人う
金ハキマド名をうりやめ
いざく枕ア寝のうでを
よのく扇ヌうきもうき名

我も人

4/4 time, key signature one sharp. The score consists of four staves of music with lyrics in Japanese below each staff.

(1)たちをれやつきぬわーぐこーともてーつる
(2)イノチハヲシマジナーヲコーソヲシーメイ

またひうまれてみーうーじーのためーにい
ザイザマクラニヨーローヒーノソデーヲヨ

しぶみたうにうにてうーすはそのはか
シノノトビラニカヲルハソノナカ

れもまたひこぞわれもまたひとぞ
レモマタヒトゾワレモマタヒトゾ

下界を離れまくつれき國
さうづ魂もよる天女のまくづ
夜中のそら

月星はやくち夜中のそらよ
ひゆくひきはいぶきろ嵐り
代のまくづ

夜中のそら

夜中のそら

(1) fuki hoshi sasa yake kite
(2) ge ka iyo ha na le

yotsu nami kana no ki
suwaga yutama himibika

i bun kinoyo
kyonin yaka

けふこうあらた
 綾やけうる小川のうら
 はまよふくゆるうら
 こぐちのをとおうらあげて
 あはれきの笑みを我ア 我ア
 あき日ひげる我を我を
 時ちう霧のちれゆくらす
 みかづる森のこじらゆくらす

けふこうあらた

(1) あさー やけー うつる をがその そたに
 (2) キノーフハーグレテ テフコソアラタ

さまー よふー こころ たれかを しらん
 トキーナリーキリノ ハレユク サマモ

こぐー さの そなを がほうち あげて あ
 ミカーヘルモリノ コズエニ タカクア

はれー そ の 焼みを これに これ に
 ハレーヒノ カゲハワ レヲワレ ヲ

さららー ららー ららら ららう ららら
 トララー ララー ラララ ラララ ラララ

さらららー ららー ららら ららう ららら
 トラララー ララー ラララ ラララ ラララ

秋も半

厚ぐひちうて秋風も
あはれきよ秋も半
母やまつし又も足も
さむがす一夏をひく窓
あく事も今ハもう
夢よ恋き母のそば
あくこゑちくわくらう
鞭をくろ駒アア
いろだうらあひの下見
あくぞ文にこゝれつる日
くふ言葉もいまた耳ふ
くろひくよ勤め勵え

秋も半

秋も半

(1) かすあ
(2) りぎあ
(3) ガニわ
(4) ネシレバ
(1) おなすチ
(2) へバ
(3) バー^一
(4) バー^二

ちづがチ
ちづがチ
ちづがチ
ちづがチ

よひたワ
よひたワ
よひたワ
よひたワ

かトロカ
かトロカ
かトロカ
かトロカ

せツカレ
せツカレ
せツカレ
せツカレ

さマオツ
さマオツ
さマオツ
さマオツ

ムドロル
ムドロル
ムドロル
ムドロル

のモノハ
のモノハ
のモノハ
のモノハ

トイコト
トイコト
トイコト
トイコト

シトロバ
シトロバ
シトロバ
シトロバ

アイコイ
アイコイ
アイコイ
アイコイ

マヨギロ
マヨギロ
マヨギロ
マヨギロ

ヒカト
ヒカト
ヒカト
ヒカト

ヤモコヒ
ヤモコヒ
ヤモコヒ
ヤモコヒ

モニメ
モニメ
モニメ
モニメ

タハニモ
タハニモ
タハニモ
タハニモ

カカテミ
カカテミ
カカテミ
カカテミ

サムアミ
サムアミ
サムアミ
サムアミ

シニカヒ
シニカヒ
シニカヒ
シニカヒ

チハアツ
チハアツ
チハアツ
チハアツ

モノメ
モノメ
モノメ
モノメ

アソハ
アソハ
アソハ
アソハ

バタゲ
バタゲ
バタゲ
バタゲ

タマコ
タマコ
タマコ
タマコ

ラシラツ
ラシラツ
ラシラツ
ラシラツ

きママ
きママ
きママ
きママ

あはれ水

卷之二

まゝ首もあらず身のやう
あひゆへる千里の海
勝闘あげてハ谷間アシテ
ちごめぞ小川よ考とぞひく
のほれぞ不思議や、やゆくや
れぞ田畠のひびきの而
あはきよ
きに冰まで窓の裏
かごくわよせある春
あはれ水よ

水之卷

かはらぬ春
すゞや　今日もみ年六季
お端の楊柳め　あらうよて
くる春ごとに苔や見ひる
むのーのまよ

かはらぬ姿を楊柳のまよ
今なふよせつ産める月ね
ふるきとへる面影そへて
やれぎのえびす

大和田あい子作歌

かはらぬ春

いふべし

卷之二

ちもくろのけ一きや
くふそもるやまのは
うほ月夜よほひて
いま春ちゆゆう
えももむちゆきもと
秋づあはれゆべを
かのきものき
峰ノモモ野邊アモ
うづのげ一きや
うねらくやまく
家ひぐの
うじづむうひつ
行ちぬこゑまご
春もあはきゆべは
雪暮ようさくよ
あききそせ

いづらうけ一きや
あめふるれり谷川
ひえゆくはまえ
不たらさへ三つ四つ
風うちの波まで
夏よかよもゆくば
魚はるこももの
すゞしくかれて

墳墓の土地

(1) こころをうみよめよ やすくらに ゆきうる わきよみ
(2) こころをうみよめよ やすくらに ゆきうる わきよみ
(3) こころをうみよめよ やすくらに ゆきうる わきよみ

墳墓の土地

奥好義作曲

心をやけめよ むぎある おきよみ
 はげむと 令は身に うへうが
 めにうふません 墓の土地を
 あわが先祖の墳墓の土地を

心をやけめよ あくるもれ
 三種の神益のが やくうだ
 敵アやふません 王とのつもと
 天照アまゆの ほまの國を

あゝ波けやづりから國うちて
 うゞく後の宮へますりと
 めぐれてやもべき丈夫ろん
 氷雪風雨の くげんとあり

涙の聲

The musical score for 'Tear no Oto' is presented in four staves, each corresponding to a different vocal part. The lyrics are written directly beneath the notes in a traditional Japanese hiragana script. The first staff uses a soprano C-clef, the second staff uses an alto F-clef, the third staff uses a tenor G-clef, and the fourth staff uses a bass F-clef. The time signature is 2/4 throughout.

涙の聲

夕日をかゝへ旗まの靡き
雪までひゞく闇の聲
そぞぞのうらと歎くつ今も
あくにさわぐ枯薄

馬上で得たる先祖の功
了てふるやといつまでぞ
うちのへははけのよ
まづるもちうづく太刀の折き
五年をうけてつむる城の
くもくともく一時のハコ
勇士の墓のゆくへをとへぞ
うづくの都もうし

小春のうた

もつしもかわきしわらやののきに
むれかるすずめのこゑさへのぞか
かへり一ぎきするたにまのそるを
クルマノオトスルナガレヲヲレテ
ひとむらしぐれのこひこぬさきに
イタバシワタレバワガサスミテラ
いざいざそはんさんほのノモ
イザイザサリハンサンボのヲ

おちゑをふあけうしろの山
ゆぐりいろい道ちうぢぐか
くまねじるもじれをぢまく
橋のれをよづりて山等
いぢくらばくみ歩の友を

小春のうた

(1) もつしもかわきしわらやののきに
(2) オチバヲフミワテウシロノ ヤマニ

むれかるすずめのこゑさへのぞか
ササグリヒロヒシミチナホサダカ
rit.

かへり一ぎきするたにまのそるを
クルマノオトスルナガレヲヲレテ

ひとむらしぐれのこひこぬさきに
イタバシワタレバワガサスミテラ

いざいざそはんさんほのノモ
イザイザサリハンサンボのヲ

水よこゑあゆて
谷むうげまで
まひけ来る春を
ヨルモヒヤマ
よもいざるア
谷ア

招け来る春を

奥好義作曲

招けくる春を

A musical score for 'Okehikuru Hanao' in G major, 2/4 time. The score consists of five staves of music with lyrics written below each staff. The lyrics are:

(1)みづよこゑたてて一たにのかげまで
(2)トリハマダシラヌーソラノハツハル
ち一まねけくるはるを一みづよ
ヲ一ツゲヨウタヒツツ一トリハ
こゑたてて一たにのかげまでも
マダシラヌーソラノハツハルヲ
一まねけくるはるを一われもいざやま
一ツゲヨウタヒツツ一ワレモイザヲカ
にのべに一われもいざやまにのべに一
ニタニニ一ワレモイザヲカニタニニ一

冬と春

あらば冰よるのあ
あめゆに落葉いろ
みどりてまきの風
さくすかゆやへ
冬のう木の花

冬と春

冬と春

The musical score consists of three staves of music in common time (indicated by '3/8') with a key signature of one sharp (F#). The lyrics are written below each staff, corresponding to the notes. The first two staves begin with a treble clef, while the third staff begins with a bass clef.

(1) あーさのこほりよるのし
(2) ワーカナヌラスツユノイ
もロラス一らみとけはるのか一ぜ
ギシウラミイマノア一イ

(3) さーくらすももしるやひ
ミふ一ゆのかれきはるのは な

和 無 の 浦

和平子浦

名セリルの湯
いづきがれあるちぬ
ゆうとせよ、そがせ
もうそくわらう舟
いゆかの風とあけし
もうの風わう袖
あはれの波
あはれてハ共ふもつぎを
まわばざれてるまくらる
たはれ遊びてよ一日
あはれ雪井のあれ下そ
あはれ姿をゆめに

ちよちよちよゆまし
いつたとにさる
よの夏をあます
ねまづるが
よきごはんをもよてど
くわくわくわくわくわくわく

和えの浦

旅の後

旅の後

(1) さくらのみやのゆふか一ぜーに
 (2) カモガハヅノミアキフーケーテ

たもとづらねてすーずみー#るー
 イリヒサビシキヤーナギーカゲー

ともをたれとかかたーるらーんー
 ナホモココロゾアクーガルー

ともをたれとかかたーふらーんー
 イマモココローゾアクーガルー

たーそがーれのころいーこーまやーま
 ヒエノネーオロシターガソーーデーニ

かぎしにほしをいたーだき
 カヨフカナレシタカードノ

rit.

旅の後

あくまで宮の夕風
あもとつゝねですみほる
友をたれどうかうら
あそがきめりいこま山
うだに星をいゞぎて
くふるゆく向ふくし
今きゆれよ向ふくし

か茂川づみ秋あけて
ちいづ日さびき柳うづ
入もくうづあくがく
比叡の嶺おこうあが袖
簾しづかうづか
朝す柳をふきよせて

なやいうちんじの歌
ちやうじうちんじの歌
ふみれ教のあはきまハ
ふるき教のあはきま
きめくは後の夏宿す
あひたまうへうひただ
むすぶ四条のあいだ
舟せうづれ波すく

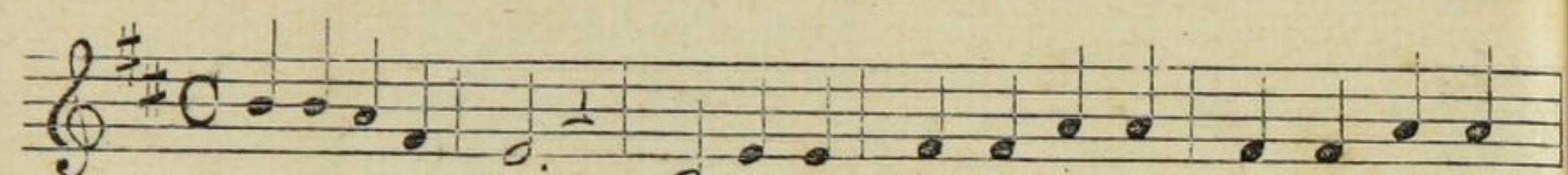
上 真行 作曲

古村あと

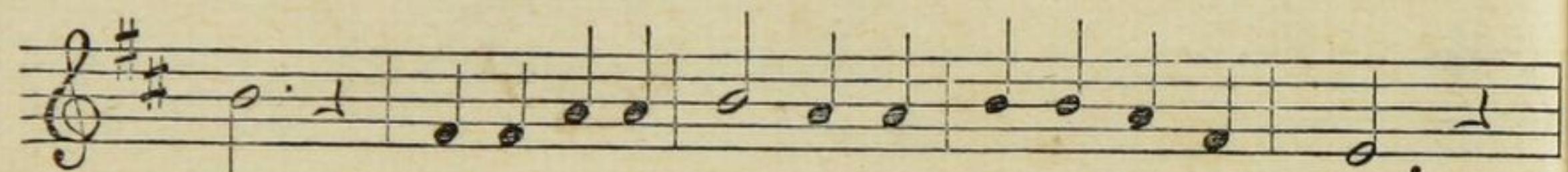
芝 萬鎮 作曲

松風よひこゑひごたや
糸舟のへうらびのうまう
青柳よいゆる姿や
そむうみの舞のむすうげ
まゆふこう覺つてみて
あもうちうう大殿小殿
いつのまう春うほぎくし
時うまに秋うづけん
いづみのあうともくいど
むち散りし毛もえみすず
ふくわけてこはんすれど
いかうせんえよあますうて
一げるよもぎを

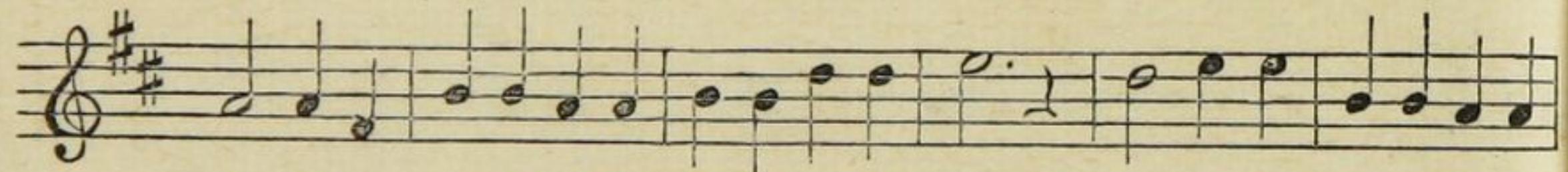
古き跡



まつうぜに のこる ひびきや いとたけ



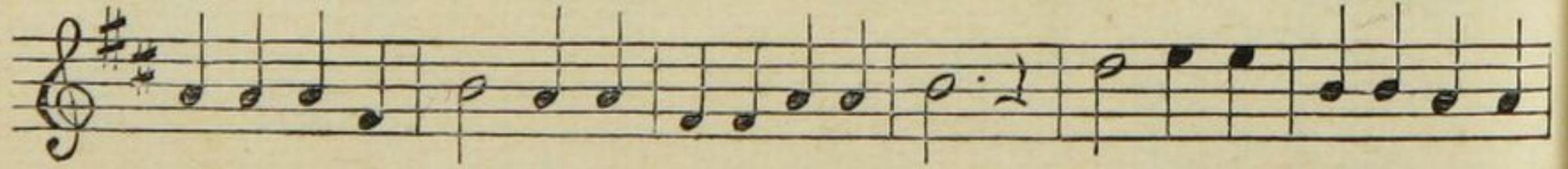
の しらべの まごり あをやぎ に



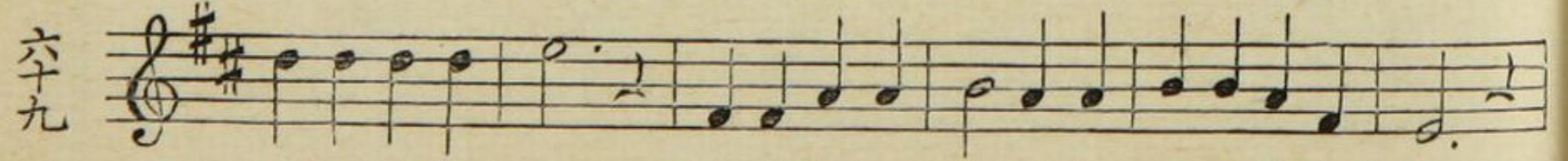
みゆる すがたや そのかみの まひの れもかげ



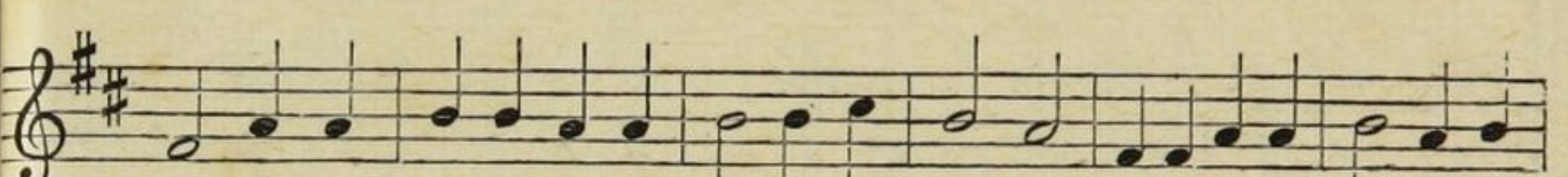
きのふ こそ いらっしゃつらねて たちまみし



たほこの ことの いつのまに はるは すぎけん



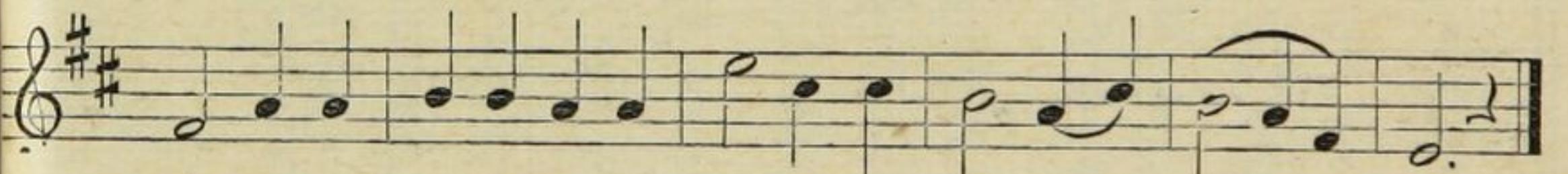
ときのまに あきかへり けんいしづゑの



あこせ しられずねちち りしかはらもみえず



ふみわけて とはんと すればいかに せん



たけに あまりて しげる よもーぎーを

明治二十二年十二月廿一日印刷

同 年 同 月 廿三日 出 版

版 權 所 有

定 價 十二 錢

東京小石川區金富町五十番地

編 者 大 和 田 建 樹

編 者 奥 好 義

東京牛込區拂町九番地

東京日本橋區通鹽町八番地

發 行 者 宮 川 保 善

兼 印 刷 者

東京日本橋區通三丁目十七番地

發行所 東京正中央書館 有



式部次官從四位勳三等男爵高崎正風先生作歌

式部職樂師兼東京音樂學校教諭上眞行先生作曲

忠愛唱歌將碁之盤 洋琴伴奏附

米國

ルーミス君原著

上眞行先生校閱 東儀季治君譯述

定價三錢 郵稅二錢

近來音樂書著ノ譯日ヲ逐フテ多キヲ加フレ正唱歌教授ノ方法ヲ説ク者ニ至リテヤ東儀季治音楽指南(官版)ノ外ニ未タ一書ヲモ見ザルハ實ニ教育上ノ缺典タリシガ今ハ上先生ノ校閲ヲ經テ完成セシ者ナレバ其良書タルハ敢テ多辨ヲ要セズ加フルシテ見ルモ十分ノ價值アルモノナリ然ルニ其定價ヲ問ヘハ極メテ低廉ナリコレ出版者ノ精神專ラ風教ニ裨補セントスルニアリテ決シテ攫利的ニアラザルノ証明譯集ト例ト者ニ

上真行先生閲世ノ音樂教育熱心ノ諸君ハ疾ク一本ヲ購求シテ鴻益ヲ収メ玉へ

鈴木米次郎君譯

定價三十錢 郵稅六錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

定價廿五錢 郵稅二錢

集ナリ

第一 邮稅二錢

右ハ男爵高崎正風、物集高見下田歌子、稅所敦子、中村秋香、大和田建樹、平田盛胤、加部

嚴夫、鳥居枕、服部元彦、東宮鐵眞呂、石橋思案、森岡久之助等有名家ノ作歌トもざしと、

わぐなし等ノ大音樂家及ビ本邦音樂家ノ作曲トヲ以テ組成シタル詞譜雙絶ノ好唱歌

集ナリ

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢

元老院議官文學博士中村正直先生題字

第一 邮稅二錢

高師範學校助教論奧好義先生選

第一 邮稅二錢

上真行先生閲

鈴木米次郎君譯

第一 邮稅二錢